

大名町教会NEWS

【ホームページ】 <http://www.daimyomachi-c.or.jp/>

発行責任者：中村 彰 神父

【ミサ時間】 主日：7時・9時30分 / ベトナム語(第2・第4日曜日)：14時 / 英語：16時

〒810-0041 福岡県福岡市中央区大名2-7-7 TEL：092-741-3687 Fax：092-741-5107

【巡】 カトリック能古島教会 ミサ(土) 18時 〒819-0012 福岡県福岡市西区能古弁当1621-12



福岡教区年間テーマ：キリストの愛に駆り立てられて、人々と歩む教会

大名町教会年間テーマ：

すべての人にキリストの光でありなさい
Be the light of Christ to everyone

1月：新年おめでとうございます

キリスト教入門講座

- ・指導司祭：中村神父
- ・日時：毎週水曜日 10時 & 19時
- ・場所：大名町教会 1F 講堂

聖書の分かち合い

- ・指導司祭：ルーカス神父
- ・日時：毎週木曜日 14時
- ・場所：大名町教会 1F 講堂

ギリシャ神話にパンドラの箱の話があります。パンドラは全能の神ゼウスによって地上に送られた最初の女性です。ゼウスは彼女に絶対に開けてはならないと言って、あらゆる災いを封じ込めた箱を持たせます。開けてはならないと言われれば、開けたくなるのが人間の常で、彼女は誘惑に負けて箱を開けてしまいます。箱からは病気、飢え、貪欲、憎悪、猜疑、嫉妬、怒りなどあらゆる不幸の種が飛び出していきました。彼女はあわてて蓋を閉めますが、それ以来、人間界には不幸が絶えなくなりました。しかし、急いで蓋を閉めたおかげで、箱の隅に小さな光る石が一つ残っていました。その石には希望という文字が書かれていました。この神話は失楽園物語を連想させます。神から禁じられた木の実を食べた人祖に、神は救い主を送る約束をします。救い主の誕生は全世界にとって大きな希望の光です。神は今も私たちを愛しておられ、決して見捨てられていないとのしるしだからです。

主任司祭 ヨセフ 中村 彰 神父

ゆるしの秘跡：通常、毎週土曜日の午前中。それ以外にも希望される方は司祭にご相談ください。

✠ 主の御降誕おめでとうございます



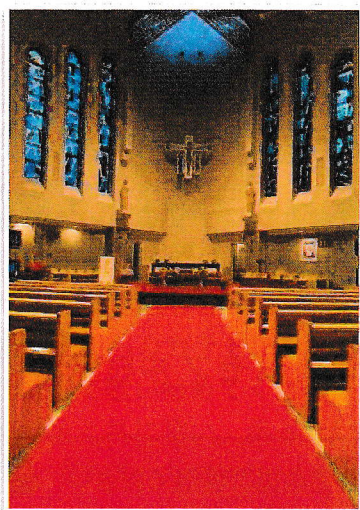
大聖堂の馬小屋

「いと高きところには栄光、神にあれ、地には平和、御心に適う人にあれ。」

(ルカ：2-14)

主の御降誕おめでとうございます。今年もアベイヤ司教様にお越しいただき、降誕祭のごミサを共に捧げてくださいました。昨年同様、降誕祭で歌を歌うことはできず少し寂しい雰囲気でしたが、たしかにイエス・キリストは私たち一人ひとりの馬小屋に来てくださいました。

コロナ禍のため、2022年も教会行事や各団体活動を満足に行うことができませんでした。が、「すべての人にキリストの光でありなさい」という教会共同体テーマのもと一步一步前へ進むことができたように感じます。今年も私たち一人ひとりの馬小屋に来てくださったイエス様がいつもそばにいてくださる事を感じ、勇気を持って2023年を過ごすことができますように・・・





新成人祝福式：成人おめでとう



成人を迎えられた5名の方々、本当におめでとうございます！

2023年1月8日(日)主の公現のミサの中で、ルーカス神父様主司式のもと5名の方々の新成人祝福式が行われました。写真左から、ベルナデッタ 内田有紀さん、ペトロ 柴田一冨さん、マリア・フランチェスカ・ロマーナ 岩井瑚午さん、クララ 矢野涼子さん、ケビン ランデッタ 慶敏さん。新成人の方々よりメッセージをいただきましたので、今月号と次月号に分けて紹介致します。

好天に恵まれ主の公現のミサの中で新成人の祝福を受けた。これまで大切に育ててくれた両親、また、神父様をはじめたくさんの祈りで支えて下さった信徒の皆さんのお陰で、この日を無事に迎える事が出来、心より感謝申し上げます。ミサが始まり祝福の祈りが続き、教会のステンドグラスの光が優しく差し込み、神聖な雰囲気の中で、信徒の皆さんの祈りに包まれて、霊的な力による導きを強く感じた。私達はこれから「どうする○○」と幾度となく迫られる決断の時も、イエス様が共にいて下さる安心感があれば、どんな試練も乗り越えられると思う。聖霊の恵みによって強められた私達は、社会人としての自覚と責任を持ち、困っている人のために自ら出向いて行ける人になれるように、イエス様と一緒にこれからの人生を歩んで行きたい。

ベルナデッタ 内田有紀

<12月の現勢>

【洗礼】

ルチア 高橋 博子

【転入】

マリア・ミカエラ 武末 美香

【転出】

セシリア 森永 礼子

【結婚】

イシドロ 余宮 和宏

ベルナデッタ 中田 陽子

ペトロ 平田 将博

白石 ゆか

【帰天】

カタリナ 平野 須美子

ヨゼフ 渡辺 正利

★ 12月の宣教司牧評議会 ★

【検討事項】

1. 宣教司牧方針を受けて、共同体の目標について
→11/26～12/11に2回目のアンケート実施。有効回答数140件(主日ミサ参加者の約2/3)。
検討メンバーにて、目標の素案を検討し次回評議会にて審議。
2. コロナ感染対策の見直しについて
→第8波感染拡大を考慮し、現状維持とする。聖歌は歌わない。
3. 教会エントランスルームの活用について
→①パウロ会担当者と内装業者の現場調査、内装の必要性について相談。
②新規オープンについては2023年4月を予定として計画。
③教会案内スペース：見直しの必要あり。実行委員会にて検討していく。
4. 宣教司牧評議会評議員の改選について
→①各活動団体の代表者＝評議員ではなく、個人を候補者として推薦、信徒総会にて選考。
②選考協議会の委員について
宮本健郎さん・若狭千賀子さん・深堀伸一さん・谷口純子さん・宋みどりさん
岩井原邦彦さん・目良信子さん 以上の7名の方に依頼。
5. 教会掃除の区割りについて
→現状の区割りを継続。多数意見あり→審議の結果2023年定例信徒総会にて提案。
6. 転入信徒への情報提供について
→他教会のしおりを参考にたたき台を作成中。
7. クリスマスについて
→今回は案内掲載が遅れたため、来年より決定次第、内外の掲示板に掲示する。
8. 営繕工事の承認と報告について
→①大聖堂空調追加工事と営繕積立金の取り崩しについて承認。
②自家用電気工作物の保安、管理費の引き上げについて承認。
③電気料金(大規模契約割引終了による料金値上げ)について承認。

【報告事項】

1. ウクライナバザー収益金：カリタスジャパン＆福岡在住ウクライナ難民支援へ送金
2. 福島りんご販売：教区災害支援室へ送金

～ ♪ 勇気を出して！神が共におられる ♪ ～

信徒の皆様、旧年中は大変お世話になりました。本年もよろしくお願いいたします。中村彰主任、ルーカス助任、レナト協力司祭を迎えた新体制共同体は新型コロナ、7波、8波に大きく影響された1年でした。ウイズコロナと叫ばれ、各種規制も緩和される中、私たちの活動は内外ともに静かなものでした。降誕祭を迎える前に、わたしはコロナ感染。7日間の自宅療養、毎日保健所から、心配してくださるありがたい経過観察の電話、生まれて初めてこのような降誕祭を過ごすことになった。ライブクリスマスイブミサにあずかり、さらには全国各地のイブのミサ、主日のミサにも与ることができた。コロナによって見えないものも見え、聞き知ることができた。数名の司祭の説教に耳を傾け、一緒に歌い賛美した。沢山の少年少女による侍者奉仕、国際青年たちの集まるクリスマスキャロル、この日のために日々集い準備された司会、先唱者、聖歌隊の皆さんの声にも所作にも喜びがあふれていた。新しい典礼による歌ミサはさらに豊かな喜びの響きとなっていた。私たちのカテドラル、アベイヤ司教様の閉祭の挨拶、「少し寂しい雰囲気です。そろそろ勇気をだして歌い始めてください。大丈夫ですよ。心合わせて神を賛美しましょう」今年こそ勇気をだして主と共に歌い、歩みたいものです。これこそが互いに支え合う交わりのある教会に神様が私たちを変えてくださいます。そう信じています。